

第17回

静岡県景観賞

令和6年度受賞地区



はじめに

「美しいしずおか景観推進協議会」は、県民共通の資産である県土の景観に関する啓発活動を行い、しずおかの美しさを守り・育て・創ることを目的として昭和63年に創設したものです。本協議会では、昭和63年度に「静岡県都市景観賞」を設け、優れた都市景観を創出している地区等を表彰してまいりました。その後、平成20年度からは賞の名称を「静岡県景観賞」に改め、田園や農山漁村などにも表彰対象を拡大して実施しており、今回は17回目、通算37回目となります。

本年度は22件の御応募をいただき、審査の結果、『富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス』を最優秀賞に選定しました。

この『富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス』では、富士山への眺望に対して細心の配慮と、眺望地点としての高いポテンシャルをさらに活かすような設計がされており、非常に上質で癒やされる空間が創出されていました。

優秀賞には、海と市街地を結ぶゲートのような佇まいで松林を縫うように建てられ、景観×防災、景観×地域振興を象徴する全国初の取組である『海と共に生きる 津波避難複合施設「テラッセ オレンジ トイ」』、600年余り受け継がれている伝統行事の継承と地域活性化に取り組み、中山間地域の村落景観の保存活動に長年努力している『中世以来の農山村景観が今に息づく「川名ひよんどりの里」』の2地区を選定しました。

受賞地区の皆様に対し、心からお祝い申し上げますとともに、景観について、より多くの県民の皆様が関心を持っていただく契機となれば幸いです。

今後とも、住む人々が誇りと愛着を持ち、訪れる人々が魅力を感じ、世界から憧れを呼ぶ美しい“ふじのくに”を目指して、美しいしずおか景観推進協議会の会員一同、啓発活動に取り組んでまいります。

令和7年1月

美しいしずおか景観推進協議会会長
静岡県交通基盤部長 森本 哲生

これまでの 静岡県景観賞



最優秀賞 受賞地区



第1回 2008年 静岡市葵区

わさびとお茶の里
「有東木」



第2回 2009年 御殿場市

森の中の環境共生型まちづくり
「矢崎総業Y-TOWN御殿場」



第3回 2010年 掛川市～湖西市

天浜線のある風景
(文化資源を際立たせる自然・産業景観)



第4回 2011年 三島市

三島市景観重要樹木
「文教町イチョウ並木」



第5回 2012年 静岡市清水区

新東名とみかんの里
「原・新丹谷 (はら・あらたにや)」



第6回 2013年 静岡市清水区

世界遺産富士山を望む風景美術館
「日本平ホテル」



第7回 2014年 三島市

大社の杜 みしま



第8回 2015年 静岡市駿河区

静岡県草薙総合運動場体育館
「このはなアリーナ」



第9回 2016年 磐田市

豊岡中央交流センター



第10回 2017年 三島市

ガーデンシティみしまのシンボルロード
「花飾り」と「袖看板」



第11回 2018年 伊豆市

地域で継承！八岳地区の
「わさびの郷」づくり



第12回 2019年 袋井市

旧東海道 久努の松並木



第13回 2020年 掛川市

伝統農法が織りなす茶草場テラス
から望む東山大茶園



第14回 2021年 伊東市

小室山リッジウォーク
“MISORA”



第15回 2022年 静岡市駿河区

静岡第一テレビ新社屋



第16回 2023年 富士市

富士山こどもの国 花の谷

最優秀賞 静岡県知事賞

富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス (富士宮市)



受賞者

景域計画株式会社
関東地方環境事務所



アクセス

新東名「新富士IC」から車で約35分
(西富士道路、国道139号を經由し、
上井出ICから車で約12分)

所在地

富士宮市佐折地内

Photo by Ryo Yahara



Photo by Ryo Yahara

田貫湖富岳テラスは、環境省が再整備した富士箱根伊豆国立公園の田貫湖畔（富士宮市）に位置する富士山を望むための展望テラスであり、ここからは富士山山頂に太陽が昇る瞬間、ダイヤモンドのように輝く「ダイヤモンド富士」や田貫湖に映り込む「逆さ富士」を真正面から望むことができます。コロナ禍の後、インバウンドの本格的な回復に向け、わが国を代表するこの優れた眺望地点のさらなる磨き上げが求められていました。これらの背景から、眺望地点から富士山や田貫湖畔などの周辺環境をより体感として感じる事ができる展望テラスを目指しました。

具体的には、展望テラスの角度を撤去前の既存展望デッキより4°北側にすることで真正面に富士山山頂を望むようにしました。また、湖面の体感を向上させ、「逆さ富士」の魅力がよりダイレクトに利用者に伝わるようにテラスの高さを既存施設より30cm下げました。これにより、富士山への眺望への満足度がより高まることを期待しました。展望テラスのデッキ材には、地場産の富士ヒノキの小節材を用い、雑味の無い上質な環境づくりを行い、これらを通じてよりきめ細やかで、すがすがしく、温かみのある場づくりを行いました。

審査委員より

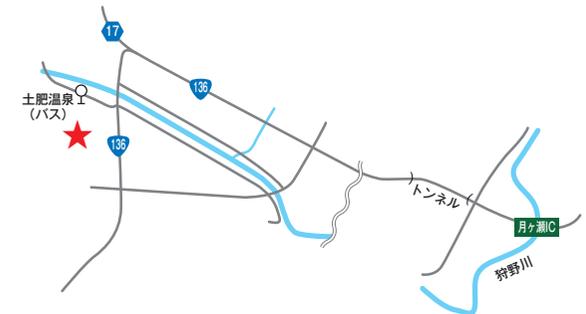
ダイヤモンド富士と逆さ富士を望める最高の眺望地点に相応しい、洗練されたデザインとなっています。眺望の軸線を北側に4°ふって富士山山頂に合わせたり、テラスの高さを既存施設より30cm下げたりして、富士山への眺望に対し、細心の配慮をしている点も見逃せないポイントです。このテラス全体に対し、湖畔周辺景観との調和、ユニバーサルデザインへの配慮、適切な使用材料、優れたサイン計画と夜間景観の演出等、様々な諸点からみて、非常に優れた景観創出に成功しています。

海と共に生きる 津波避難複合施設「テラッセ オレンジ トイ」 (伊豆市)



受賞者

伊豆市
東京大学生産技術研究所 今井研究室
日本工営都市空間株式会社
松原公園及び津波避難複合施設整備
検討委員会



アクセス

伊豆縦貫自動車道「月ヶ瀬IC」から
車で約23分
(国道136号を經由)

所在地

伊豆市土肥2648-2

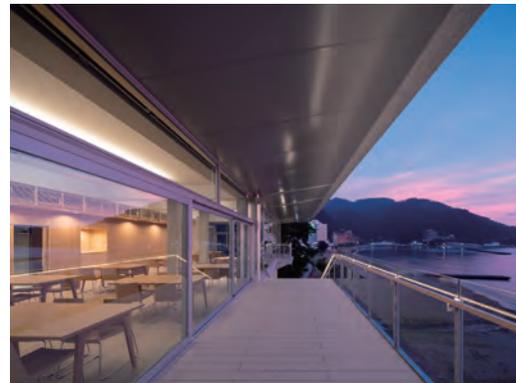
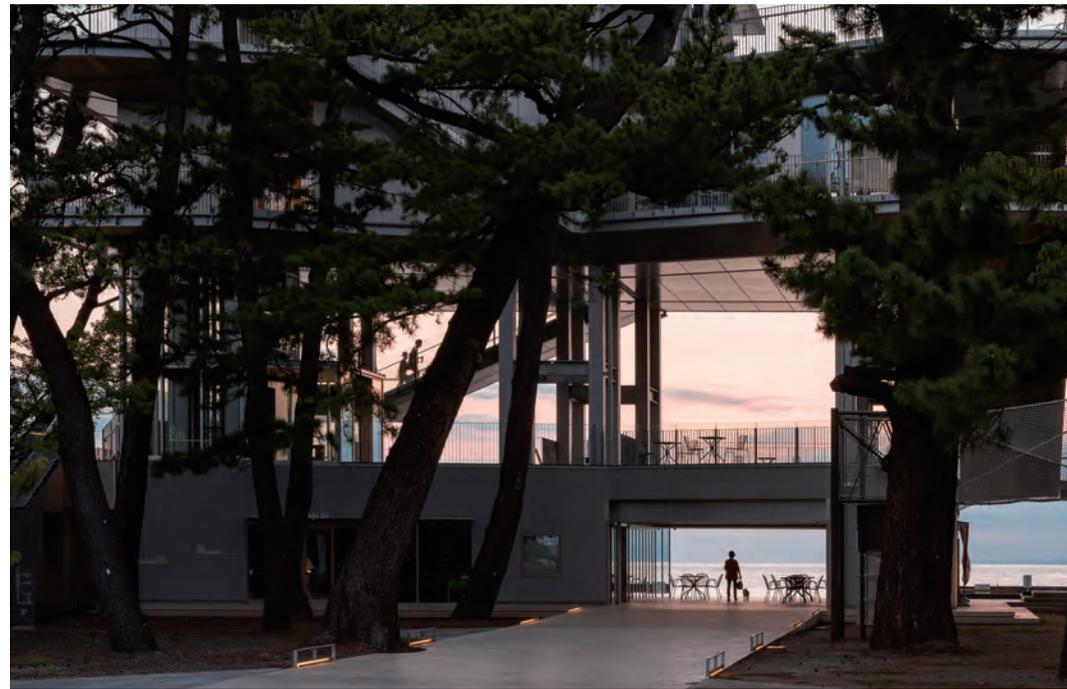


Photo by Hiroshi Ueda

全国初の津波災害特別警戒区域（オレンジゾーン）を指定した伊豆市土肥地域において、避難タワーに観光機能を融合させた、同じく全国初の津波避難複合施設が完成しました。防災機能に加え、日常的には展望台や観光施設としての役割を果たすことで、利用そのものを避難訓練とし、地域の方や観光客の防災意識を高める効果が期待されます。海と松原のあいだに建てたこの建築では、外周の階段を立体的に歩むことで、駿河湾と松原が生む壮大な景観を体験できます。建物自体は松原・海・夕日などの自然を映し込み、周辺環境と調和する外観としています。

地域の方と議論を重ねた松原公園の整備では、古くから土肥温泉の景勝地として受け継がれた「白砂青松の松林」の再生を試みています。松林として適切な密度になるよう間伐・剪定を行い、まちのどこからでも松を透かして海の水平線が見えるようにしています。そのうえで、松原を貫通する「抜け」をつくるように設計した建築は、背後に広がる海や山への「門」となり、自然と人工が融合した新たな松原の風景を創出しています。

審査委員より

これまでの無味乾燥な鉄骨造避難タワーに比べ、津波避難機能と観光機能を融合させることで、優れた建築デザインと相成り、高く評価できます。地域の象徴である松林とピロティ空間は、海岸景観へと誘うゲートとなり、素晴らしい景色を創出しています。

また、展望スペース、照明計画、サイン計画も優れており、松林保全と土肥桜植栽等のランドスケープも素晴らしい景観デザインとなっています。

中世以来の農山村景観が今に息づく「川名ひよんどりの里」

(浜松市浜名区)



受賞者

川名ひよんどり保存会
NPO 法人わたぼうしグランドデザイン
一般社団法人 College Impact Japan



アクセス

新東名「浜松いなさIC」から車で約10分

所在地

浜松市浜名区引佐町川名



川名は東西約1.5km、標高100～130mほどの小さな盆地を中心に集落が展開しており、北側に霧山（標高430m）、南側に三岳山（標高467m）がそびえ、三岳山の麓を川名川が東流し都田川に注いでいます。沢沿いの傾斜地を活かした棚田のほか、段々畑では花木栽培が営まれています。集落内には三岳城跡（国史跡）、井伊直平墓所や鎧橋（いずれも浜松地域遺産）など井伊家ゆかりの史跡・建造物・伝承地が点在し、伝統行事「川名のひよんどり」（国重要無形民俗文化財）が室町時代の応永年間（1394-1428）から連綿と伝えられています。

当地域では、昭和50年（1975）に設立された川名ひよんどり保存会を中心に、伝統行事の継承活動のほか、歴史的建造

物保存修理や史跡看板設置など、日常の風景に埋もれていた歴史遺産を、景観資源として磨き上げ（顕在化）することで歴史的景観の維持と地域活性化に取り組んでいます。

特に、地域社会の変容が著しい中山間地域におけるコミュニティ（地縁に基づく地域型コミュニティ）活性化の新たな形として、伝統行事「ひよんどり」を核に、学生団体・NPO法人・一般社団法人といった多様な主体（テーマ型コミュニティ）との連携を深化させています。少子化や人口減少の影響を受けながらも、伝統と変革を融合しながら新たなコミュニティを創造することで、歴史的な集落景観の保全を図るとともに、今後も地域の魅力を発信していきます。

審査委員より

福満寺薬師堂の保存修理や史跡の案内・解説板の設置などが行われており、最大の景観特性は、段々畑に栽培された花木のランドスケープや伝統的な面影を残す住宅などの集落景観にあります。

また、「ひよんどり」という伝統祭事を中心とし、川名という中山間地域の村落景観の保存活動に長年努力している姿が、大変素晴らしいと感じました。NPO法人・一般社団法人・学生団体などと連携し、伝統遺産のための後継者育成や集落の情報発信といった事業を展開していることも、大いに評価できる点です。

募集・審査について

●募集対象

次の①、②のいずれにも該当するもの

①良好な景観

都市、歴史文化、田園、農山漁村等において、良好な景観が形成されている地区又は施設

②活動

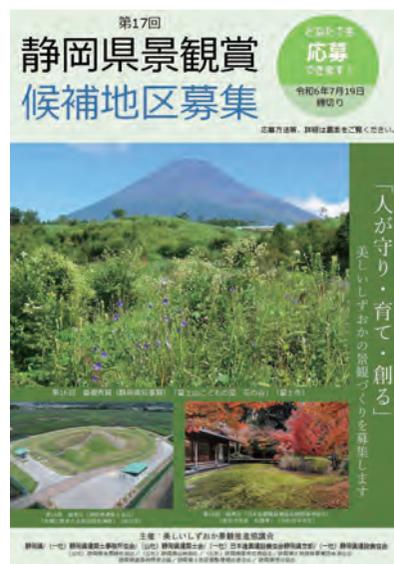
住民団体、特定非営利活動法人、企業、学校、自治体等が主体となって良好な景観の形成や保全に寄与しているもの(建造物や眺望点の形成等を含む)

●応募件数

- (1) 募集期間 令和6年5月29日から7月19日まで
- (2) 応募件数 22件

●審査日程

- (1) 書類審査(8月23日)
6地区を現地審査対象地区として選出
- (2) 現地審査(9月20日、10月9日)
- (3) 最終審査(10月25日)
最優秀賞1地区、優秀賞2地区を決定



応募チラシ

●審査委員

委員長	川口 宗敏	静岡文化芸術大学名誉教授
特別委員	磯村 克郎	静岡文化芸術大学デザイン学部デザイン学科教授
〃	金田 享子	アトリエ景株式会社代表取締役、 公益社団法人日本サインデザイン協会常任理事
〃	齋藤 潮	東京工業大学名誉教授
一般委員	鳥居 久保	一般社団法人静岡県建築士事務所協会副会長
〃	吉山 真三	公益社団法人静岡県建築士会副会長
〃	内山 晴芳	一般社団法人日本造園建設業協会静岡県支部長
〃	石野 好彦	一般社団法人静岡県建設業協会専務理事
〃	藤田 祐司	公益社団法人静岡県造園緑化協会専務理事兼事務局長
〃	清水 克郎	公益社団法人静岡県山林協会専務理事
〃	松尾 憲宏	公益社団法人静岡県屋外広告協会会員
〃	絹村 敏美	静岡県土地改良事業団体連合会専務理事
〃	志村 信明	静岡県道路利用者会議事務局長
〃	吉田 篤史	静岡県土地区画整理組合連合会幹事(代理)
〃	山田 真史	静岡県河川協会常任幹事
〃	飯田 温	静岡県交通基盤部理事

※敬称略 特別委員は委員長を除き五十音順



書類審査



最終審査

現地審査の様子



富士箱根伊豆国立公園 田貫湖富岳テラス

海と共に生きる 津波避難複合施設
「テラス オレンジ トイ」

中世以来の農山村景観が今に息づく
「川名ひよんどの里」

未来の景観を考える

一般社団法人 静岡県建築士事務所協会
Shizuoka Association of Architectural Firms

URL <http://www.shijikyoku.or.jp>

美しい景観を目指して

Shizuoka Association of Architects & Building Engineers
公益社団法人 静岡県建築士会

URL <http://www.shizu-shikai.com>

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と
美しい景観の創造をめざして

一般社団法人
日本造園建設業協会 静岡県支部

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号静岡県庁西館9階
TEL 054-271-9348 FAX 054-251-9205
Email shizuoka@jalco.or.jp
URL <http://www.shizuoka-jalco.org/>

～ 地域を守り 未来を創る ～

創造と信頼の
一般社団法人 静岡県建設業協会

会長 石井源一
副会長 市川 照 副会長 長谷川智彦
副会長 河津市元 専務理事 石野好彦

〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
大樹生命静岡駅前ビル12階
TEL 054-255-0234 FAX 054-255-5590

主催・発行／美しいしずおか景観推進協議会

■正会員

静岡県

一般社団法人静岡県建築士事務所協会

公益社団法人静岡県建築士会

一般社団法人日本造園建設業協会静岡県支部

一般社団法人静岡県建設業協会

■協力会員

公益社団法人静岡県造園緑化協会

公益社団法人静岡県山林協会

公益社団法人静岡県屋外広告協会

静岡県土地改良事業団体連合会

静岡県道路利用者会議

静岡県土地区画整理組合連合会

静岡県河川協会

美しいしずおか景観推進協議会事務局

(静岡県交通基盤部都市局景観まちづくり課)

住 所
電話番号
Eメール

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
054-221-3702
keikan@pref.shizuoka.lg.jp



静岡県景観賞公式

Instagram

- ▶ 静岡県の美しい景観をお届けしています
- ▶ フォロワー様の写真をリポスト投稿しています
 - ①静岡県景観賞公式Instagramをフォロー
 - ②#静岡県景観賞 #shizuoka_landscapeのハッシュタグをつけて投稿
 - ③投稿の中で、撮影地を記載



静岡県景観賞

ホームページ

- ▶ 景観賞の応募はこちらから
- ▶ 過去受賞地区を御覧いただけます
<https://www.pref.shizuoka.jp/machizukuri/keikan/keikanshou/1029797.html>



静岡県公式観光アプリ

TIPS [ティップス]



- ▶ 静岡県内の観光情報を発信しています
- ▶ 景観賞の受賞地区も掲載されています（観光スポット検索画面から検索）
- ▶ アプリのダウンロードはQRまたは県のHPから
<https://www.pref.shizuoka.jp/kankosports/kanko/hallonavi/1021757.html>